



ROKKO NEWS

http://www.rokkorugby.com

特定非営利活動法人 六甲クラブ

2012年シーズンスタート号

The ROKKO They Are a-Changin' ~クラブ連覇、日本選手権勝利へチェンジ!~

六甲FBチームスローガン 「CHANGE」

- ・六甲初の連覇(※)にチャレンジ。六甲クラブの歴史を変える
 - ・日本選手権での勝利。クラブチームの歴史を変える
 - ・全員で何事にも取り組む。今までの六甲クラブを変える
- ※～全国クラブ大会決勝が秩父宮ラグビー場で開催されて以来

六甲FBチーム目標 「クラブ日本一連覇」「日本選手権勝利」

- 【2012年度・六甲ファイティングブル・新体制】
- ・主将～ 鎌田崇史 30歳(国学院久我山→同大)
 - ・副将～ 板垣武志 26歳(神戸工→大体大)
 - 山下 誠 27歳(啓光学園→大体大)



日本選手権で勝ちたいんや!! 3月に行われた六甲クラブの臨時総会で、鎌田崇史主将の再任が決まり、鎌田主将は副将に板垣武志と山下誠の2人を指名。2012年度シーズンがスタートした。昨年2年ぶり5度目の日本一を達成したが、日本選手権では帝京大に大敗。鎌田主将は今年チームスローガンに『CHANGE』を掲げ、あらゆる面で六甲の変化に挑戦することを宣言した。

長年の宿敵・タマリバを倒して日本一喜びは吹き飛んでいた。2月25日の日本選手権1回戦で帝京大に83-12で大敗。目を真っ赤に腫らしながら臨んだ記者会見で「また来年この場所帝京大にチャレンジしたい」とコメントした時、鎌田主将の情熱は来季に向けていたのかもしれない。

「日本一は奪回したけど、昨季はベストメンバーで戦った試合が試合が1試合もなかった。(仕事を待つクラブという環境で)仕方ない面があるかもしれないが、それでも帝京大とはちがう。引退した男は唇をかみしめる。3月に行われた納会で、鎌田主将は選手たちに問いかけた。

「新シーズン、連覇&日本選手権勝利のために自分に何が必要なのか?もう一度自分に問いかけてほしい。現状の自分に満足してないか?日本選手権に出ただけで満足してないか?1本目半程度の帝京大にボコボコにされて、テレビ中継で恥ずかしい姿をさらしてしまった。自分で探していないか?環境や仕事のせいにしていないか?」

六甲ファイティングブルが無敵の可能性があるからこその言葉だった。そして、新シーズンのチームスローガン『CHANGE』を掲げた。

「このままシーズンに入っても、去年と同じこと(日本選手権で失敗)の繰り返しになってしまふ。自分自身からあらゆる面で六甲を変えていこう。やるのは自分、出来ないのも自分。すべては自分次第です。」

日本一になったことで、新しいメンバーも続々加わっている。リチャード・カウフシ(SO)、シオネ・トケ(FB)のトンガ人留学生をはじめ、特にB陣に逸材がいる。練習の雰囲気、精度などが去年の今頃とは全く違う。昨年試合に出れた選手たちももううかうかできません。僕も早くケガを治さなきゃ」と、鎌田主将は目を輝かせる。

クラブ連覇の使命を帯びた今季、全国のチームが「打倒・六甲」で襲いかかってくるに違いない。

「連覇というのは本当に難しい。油断やおろそかなく、今季もひたむきに戦いたい。今季の六甲はFWをほぼじめまだまだ課題は多いですが、どこまで強くなるんだというワクワク感があります。多くのライバルの挑戦をはねのけて連覇したら、六甲の歴史が変わります。そして日本選手権。大敗したあの屈辱を絶対に晴らして、クラブ勢初勝利という歴史を作りたい」と鎌田主将は意気込みを語った。

新たな目標に向かって、六甲ファイティングブルが再び走り始めた。

「クラブ大会で倒してきた」北海道B、駒場タマリバの選手たちの涙を何度も見えた。彼らの分も、戦ったがこんな結果になって本当に悔しい。」

試合後の記者会見で鎌田主将は、目を真っ赤にはらしながらも、前を向いた。結果は正面から受け止めなければいけない。「僕らクラブには引退はありません。来年またこの場に戻って挑戦したい」と、雪辱を誓った。

副将 板垣武志 (FL)

連覇を達成するといふ目標は、どのカテゴリーでも大変難しいことだと思います。特にクラブチームは、毎年のように入れ替わるメンバーによるチーム力の維持や練習量の確保、団体規模の拡大から活性まで、1シーズンを通して地道な活動に加えて慎重さが伴うからです。

「楽しくラグビーがしたい」とは誰もが思うことですが、本当の楽しさは勝つことにあると、昨シーズン改めて感じました。勝つことへの執着心も再燃しました。自分のできることを全うして、チームをけん引したいと考えています。

副将 山下誠 (CTB)

昨シーズンは、春先のケガ(前十字じん帯断裂)でチームに貢献できなかった分、今季はチームの為に暴れたいと思います。

副理事長兼GM 東田哲也

昨シーズンは2年ぶり、昨年に変わらぬ結果(2010年、7-176)となり、進化はできませんでしたが、今季は大学王者と対等に戦うにはどうすべきかを常に意識しながら、選手一人一人が行動を起こすことが何よりも重要だと考えています。

クラブチームと大学では大きな環境の違いがありますが、この壁を乗り越えることが、我々の大きなチャレンジとなり、2年目を迎えた鎌田主将の元、変化、進化する六甲ファイティングブルには是非とも期待ください!

六甲ファイティングブル、大学王者から意地の2トライ!

帝京大に83-12で完敗、来季こそリベンジを!

帝京大学	
83	29 54
7	5 7
12	
六甲ファイティングブル	
11	100 7
10	100 5
7	100 5
5	200 5
2	200 5
2	29
83	計12

前年17分、スクラムの柱・PR島田が無敵の負傷交代。セットプレーが後手に回り苦しい状況になる。

さらに27分にはFLフイティ(タウモエビアウ兄)が、気持ちが入りすぎてのアーリータックルで痛恨のシンピン一時退場。

二つの誤算と、15分過ぎからワイドにぶつくる帝京大にトライを重ねられちゃう。

開き直った後半、六甲が意地を見せる。6分、左中間付近のラックから、後輩との対決に燃えるFB加島が前進、WTB高山にボールが渡った。

高山にはゴールしか見えてなかった。迫りくるデフェンスを抜けた。最後は帝京SH滑川のタックルを交わし、右中間へ滑り込んだ。六甲の、クラブの夢のせたトライだった。

だが学生王者はさらに激しさを増していく。一人がタックルされても、フォロースタッフ、3人目が塊ごと大きく前進してくる。常に追われながらの防御。それでも六甲戦士は最後まで戦い続けた。

「選手はひたむきに戦ってくれたが、学生たちはひたむきにプレーしていた。」(東田GM)

2年前に喫した、日本選手権での学生最高得点を更新される形となった。

3月18日、神戸市灘区の六甲中・高校にて、NPO法人六甲クラブ主催の「トット」助成事業「六甲フットボールクリニック」が行われました。

講師として、石川安彦氏(例フイールド・オブ・ドリームス)※日川高↓早大↓三洋↓東芝府中↓新日鉄釜石・小倉隆史氏(元サッカー日本代表)※四日市中央工↓名古屋↓オランダ・エクセルシオール↓市原↓ヴェルディ↓札幌↓甲府のお二人を迎え、地元中高生のサッカー・ラグビー部員120人を対象に、午前はグラウンドで各種目のスキル、テクニク講座、午後は教室で座学を行いました。



午後からの座学で、石川さんは「普段の練習を、どのような気持ちと態度で臨むか」「イメージしながら練習することの大切さ」常に試合を意識しながら練習すること「気持ち、メンタルの重要性」などをわかりやすく説明、闘争心が一番大事!と熱く語り、小倉選手も「95年アトラクタ五輪直前の練習で右足後ろ十字靭帯断裂の大ケガを負った時の心境、オランダでの独りぼっちのリハビリ生活など、自分の経験を交えながら、どんな困難でもポジティブにとらえて、夢を持ち続ける大切さを熱く語ってくれました。」



洗練されたクリアな味、辛口。アサヒスーパードライ

ビール飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。アサヒビール株式会社

プレーヤー・サポーターも募集しています!

個人後援会員	団体・法人会員	ユニフォームロゴ・スポンサー
年間会費 2,000円	年間会費 1口10,000円 (原則2口以上)	年間50,000円～(要相談) (原則2年契約)
<p>予定している特典</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会報の送付 ・試合、行事などの案内 ・ファン集いの案内、優待など 	<p>予定している特典</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合、行事などの案内 ・後援企業(団体)交流会 ・企業(団体)広告の掲載 ・ファン集いの案内、優待など 	<p>予定している特典</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャージ・パンツなどにロゴ ・団体、法人会員と同等の特典 ※詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせは 特定非営利活動法人 六甲クラブ サポーター会員募集事務局(担当:山崎秀子) お問い合わせはEメールにてお願いします。 e-mail:rokkoclub@hct.zaq.ne.jp FAX:079-243-1156

HPからお申し込みください。 <http://www.rokkorugby.com>